

『外来診療マニュアル 20/20』正誤表

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。当該書籍に以下の誤りがございました。深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

■204 ページ

- ・見出し「治療」内 4~5 行目

【誤】

②長時間作用性抗コリン薬（**LABA**）+長時間作用型 β_2 刺激薬（**LAMA**）を用いる。

【正】

②長時間作用型抗コリン薬（**LAMA**）+長時間作用型 β_2 刺激薬（**LABA**）を用いる。

■347 ページ

- ・上から 4 行目

【誤】

・セロトニン症候群（p.321 参照）に注意する。他の **SSRI**, トラゾドン（**デジレル®**）, デキストロメトルファン（**メジコン®**）, トライアドール, リネゾリドの併用時は危険である。

【正】

・セロトニン症候群（p.321 参照）に注意する。他の**抗うつ薬**, トラゾドン（**レスリン®**）, デキストロメトルファン（**メジコン®**）, トライアドール, リネゾリドの併用時は危険である。

- ・表IV-9-5, 1 行目

【誤】

最近 2 週間において

【正】

最近 2 週間以上の期間において

■352 ページ

- ・「エチゾラム」の行、「用法・用量」の列, 4 行目

【誤】

頸痛症

【正】

頸椎症

■354 ページおよび 355 ページ

- ・見出し行

【誤】

適応（症）

【正】

作用特性

■357 ページ

- ・表下、＊8

【誤】

（中程度肝障害）37.5mg 2 日に 1 回開始、1 週後に 1 日 1 回 37.5 mg に增量。

【正】

（中等度肝障害）37.5mg 2 日に 1 回開始、1 週後に 1 日 1 回 37.5 mg に增量。

■359 ページ

- ・「パソプレシン受容体拮抗薬」の表、「用法・用量」の列

【誤】

SIADH における低 Na 血症：1 日 1 回 7.5 mg

1 日最大 60 mg

【正】

SIADH における低 Na 血症：1 日 1 回 7.5 mg. 必要に応じて、望ましい血清 Na 濃度に達するまで段階的に增量可。1 日最大 60 mg

- ・「パソプレシン受容体拮抗薬」の表、「備考」の列、上から 3 行目

【誤】

入院下での投与開始が原則

【正】

入院下での投与開始・再開が原則

■360 ページ

- ・「イミダプリル塩酸塩」の行、「用法・用量（成人）」の列、下段

【誤】

1 日 1 回 5 mg（糖尿病性腎症）

【正】

1 日 1 回 5 mg（I 型糖尿病に伴う糖尿病性腎症）

■363 ページ

- ・「カルベジロール」の行、「用法・用量（成人）」の列

【誤】

④1回 1.25 mg, 1日 2回開始, 分2, 段階的に增量. 維持 : 2.5-10 mg, 1日 2回

【正】

④1回 1.25 mg, 1日 2回開始, 段階的に增量. 維持量 : 1回 2.5-10 mg, 1日 2回

■364 ページ

- ・「ニフェジピン徐放 1日 1回」の行、「用法・用量」の列

【誤】

1日 1回 10-20 mg 開始, 漸増

【正】

1日 1回 10-20 mg 開始, 漸増, 1日 1回 20-40 mg

- ・「ニカルジピン塩酸塩」の行、「剤形」の列, 「ベルジピン」の段

【誤】

錠剤

【正】

錠剤

散剤

- ・表下, * 1

【誤】

* 1高血圧症 : 1日 1回 40mg で効果不十分の場合, 1日 2回まで增量可.

【正】

* 1高血圧症 : 1日 1回 40mg で効果不十分な場合, 1回 40mg, 1日 2回まで增量可.

■368 ページ

- ・「ピタバスタチンカルシウム」の行、「剤形」の列

【誤】

OD錠

【正】

錠剤

OD錠

- ・「ロスバスタチンカルシウム」の行、「用法・用量」の列

【誤】

家族性 : 最大 20 mg

【正】

家族性高コレステロール血症など重症患者：最大 20 mg

■369 ページ

- ・「ベザフィブラート」の行、「用法・用量」の列

【誤】

1 日 400mg, 分 2

【正】

1 日 400mg, 分 2, 食後

- ・「ベザフィブラート」の行、「注意」の列

【誤】

血清 Cr がベザフィブラート 2 mg/dL, フェノフィブラート 2.5 mg/dL 以上で禁忌

【正】

血清 Cr がベザフィブラート 2 mg/dL 以上で禁忌

- ・「フェノフィブラート」の行、「注意」の列

【誤】

(空欄)

【正】

血清 Cr がフェノフィブラート 2.5 mg/dL 以上で禁忌

- ・「ペマフィブラート」の行、「用法・用量」の列

【誤】

1 回 0.1mg, 1 日 2 回, 最大 0.2 mg, 1 日 2 回

【正】

1 回 0.1mg, 1 日 2 回, 最大 1 回 0.2 mg, 1 日 2 回

■370 ページ

- ・「オメガ-3 脂肪酸エチル」の行、「備考」の列

【誤】

(空欄)

【正】

嚥まずに服用するように指導

食直後服用（空腹時吸収↓）

■371 ページ

- ・「イコサペント酸エチル」の行、「備考」の列

【誤】

イワシなどから高純度に精製された多価不飽和脂肪酸

【正】

イワシから高純度に精製された多価不飽和脂肪酸

■374 ページ

- ・「セレコキシブ」の行、「標準 1 日量」の列

【誤】

1回 400 mg 頓用、最大 800 mg

【正】

初回のみ 400 mg, 2 回目以降は 1 回 200 mg として 1 日 2 回経口投与する。投与間隔は 6 時間以上あける。
頓用の場合は、初回のみ 400 mg, 必要に応じて以降は 200 mg を 6 時間以上あけて経口投与する。

- ・表下、2 行目

【誤】

- ・妊娠後期の患者には使用しない。

【正】

- ・妊娠後期の患者には使用しない（ソランタールを除く）。

■375 ページ

【誤】

一般名	商品名	剤 形	排泄型	用法・用量
シメチジン	タガメット カイロック	錠剤 細粒	腎	【胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群】1回 200 mg、1日 4回
ファモチジン	ガスター	注射剤 錠剤 D錠 散剤	腎	【胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群】1回 20 mg、1日 2回
ロキサチジン 酢酸エステル 塩酸塩	アルタット	注射剤 カプセル 細粒	腎	【胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群】1回 75 mg、1日 2回
ニザチジン	アシノン	錠剤	腎	【胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎】1回 150 mg、1日 2回

【正】

一般名	商品名	剤 形	排泄型	用法・用量
シメチジン	タガメット カイロック	注射剤 錠剤 細粒	腎	【胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison症候群】1日 800 mg, 分2 胃潰瘍、十二指腸潰瘍は1日量4回分割（毎食後・就寝前）または1回投与可 吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison症候群、逆流性食道炎、上部消化管出血は1日量を4回分割投与可
ファモチジン	ガスター	注射剤 錠剤 D錠 散剤	腎	【胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison症候群】1回 20 mg, 1日 2回。または1回 40 mg, 1日 1回（就寝前）投与可
ロキサチジン 酢酸エステル 塩酸塩	アルタット	注射剤 カプセル 細粒	腎	【胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison症候群】1回 75 mg, 1日 2回 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎は1回 150 mg, 1日 1回（就寝前）投与可
ニザチジン	アシノン	錠剤	腎	【胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎】1回 150 mg, 1日 2回 胃潰瘍、十二指腸潰瘍は1回 300 mg, 1日 1回（就寝前）投与可

■376 ページ

・「ラベプラゾールナトリウム」の行、「用法・用量」の列、上から5、6行目

【誤】

効果不十分：1回 10 mg または 20 mg を 1 日 2 回、さらに 8 週間投与可

・1日 20 mg, 1日 2回投与は、重度粘膜傷害を有する場合

【正】

PPI による治療で効果不十分：1回 10 mg または 20 mg を 1 日 2 回、さらに 8 週間投与可

・1回 20 mg, 1日 2回投与は、重度粘膜傷害を有する場合

■378 ページ

- ・「混合型」の行

【誤】

一般名	商品名	作用発現時間	最大作用発現時間	作用持続時間
配合溶解	ライゾデグ	10-20 分	1-3 時間	42 時間以上

【正】

一般名	商品名	作用発現時間	最大作用発現時間	作用持続時間
配合溶解	ライゾデグ	10-20 分 (Bolus 画分)	1-3 時間 (Bolus 画分)	>42 時間 (Basal 画分)

- ・表下、2行目

【誤】

フィアスプ、ルムジェブ→食事開始時（2分以内）、または食事開始後

【正】

フィアスプ、ルムジェブ→食事開始時（2分以内）、または食事開始後（20分以内）

■379 ページ

- ・「デュラグルチド」の行、「用法・用量」の列

【誤】

状態に応じて、週1回 1.5 mg を皮下注に変更

【正】

状態に応じて、週1回 1.5 mg に増量可

■385 ページ

- ・「イプラグリフロジン L-プロリン」の行、「備考」の列

【誤】

インスリン製剤減量を考慮（臨床試験：1日投与量 15%程度推奨）

【正】

インスリン製剤減量を考慮（臨床試験：1日投与量 15%減量推奨）

■387 ページ

- ・「ミノドロン酸水和物」の行、「用法・用量」の列

【誤】

月1回 50 mg、起床時

【正】

4週に1回 50 mg、起床時

2026年1月現在